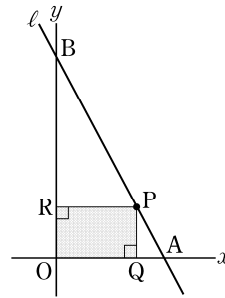


16	1次関数	クラス	氏名	得点
	グラフの利用②			点

1 右の図で、直線 l は関数 $y = -2x + 12$ のグラフで、2点A, Bは、それぞれ直線 l と x 軸, y 軸との交点である。線分AB上に点Pをとり、 x 軸, y 軸に垂線PQ, PRをそれぞれひく。



原点をOとして、次の問いに答えなさい。

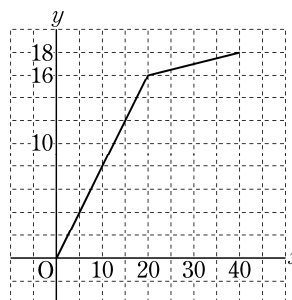
① 点Pの x 座標を t とすると、線分PQ, PRの長さをそれぞれ t を使って表しなさい。

1 (各16点×2)

①	PQ
②	PR

② 四角形OQPRが正方形になるときの点Pの座標を求めなさい。

2 ある人が午前10時にA地を出発し、B地までは自転車で、B地からC地までは歩いて行った。右のグラフは、A地を出発してから x 分後のA地からの道のりを y kmとして、 x と y の関係を表したものである。



このとき、次の問いに答えなさい。

① 自転車、徒歩の速さはそれぞれ分速何kmですか。

2 (各17点×4)

①	自転車
②	徒歩
③	式
④	変域

② B地からC地に着くまでの x と y の関係式を求めなさい。 x の変域も書くこと。

③ C地の手前600mの所に一本杉がある。この人が一本杉の前を通過した時刻を求めなさい。